

Genie®

操作説明書

Third Edition
First Printing
Part No. 82299JA

Load Lifter™

重要

本機械を使用する前に、安全規則と操作指示をよく読み、理解し、遵守してください。トレーニングを受け認定された担当者のみ機械を操作することが許されています。質問がございましたら Genie Industries までご連絡ください。

目次

ページ
安全 1
説明 5
操作前の点検 6
機能テスト 8
作業場の点検 10
操作手順 11
ステッカー 13
仕様 14

連絡先：

インターネット：http://www.genielift.com
電子メール：techpub@genieind.com

Copyright © 1995 Genie Industries

初版： 第2刷 1995年7月
第2刷： 第3刷 2001年12月
第3版： 初刷 2002年8月

「Genie」は米国およびその他の国における Genie Industries の登録商標です。¢Load Lifter£ は Genie Industries の商標です。

♻ 再生紙使用 L

Printed in U.S.A.

安全規則



警告

本説明書の操作指示と安全規則に従わない場合は、重傷または死に至る場合があります。

下記の場合以外は操作をしないでください。

☑ 本操作説明書の安全な機械操作の原則を学び、実施している。

1 危険な状態での使用を避ける。

次のセクションに進む前に、安全規則をよく理解してこれらを心得てください。

2 常に操作前の点検を行う。

3 使用する前に常に機能テストを行う。

4 作業場を点検する。

5 決められた用途にのみ機械を使用する。

☑ 下記をよく読み、理解し、遵守している。

製品使用説明書と安全規則－操作説明書と機械ステッカー

従業員の安全規則と作業場所の規則

適用する行政の規則

安全規則

落下の危険



作業員を上げたり踏み台にする目的で使用しないでください。

積荷作業台の上に座ったり立ったりしないでください。

機械に登らないでください。

転倒の危険

最大定格積載荷重量を超えないでください。最大積載重量は、91 kg です。

レッグが完全に下がりロックされている場合以外は、積荷を上げないでください。

機械が固い水平な地面に設置されている場合以外は、積荷を上げないでください。





位置の微調整をおこなう場合以外は、積荷が上がっている状態で機械を移動しないでください。

積荷が上がっている状態で機械を傾けないでください。

ホイールまたはレッグが正しく構成されていない場合、操作を行わないでください。

機械を水平にする目的でブロックを使用しないでください。

強風や突風の中で機械を操作しないでください。積荷の表面積が増加すると、風が強い状態では機械の安定性が低下します。

機械のどの部分にもはしごや足場を組まないでください。

操作を始める前に、作業現場に、急に低くなっている場所、くぼみや盛り上がった箇所、障害物、不安定な地面、滑りやすい表面、その他危険な状態がないことを確認してください。

レッグを折りたたんだ状態で機械を移動する場合、障害物のある場所や平らでない場所は避けてください。

機械の安定性や構造に大きくかかわっている部品を重量や仕様の異なるものと取り替えないでください。

機械に水平力あるいは側面荷重を与える原因になるので、固定されている荷あるいはぶら下っている状態の荷を上下しないでください。

動いているかまたは動く可能性のある表面や車両上で機械を使用しないでください。

衝突の危険

積荷が荷物台の中心に適切に配置されていない場合は、積荷を上昇しないでください。



作業場において、頭上に障害物もしくは他に危険なものがないかどうかチェックしてください。

積荷を上昇させるときは機械の下に立たないでください。 また、機械の下に作業員がいないことを確認してください。

積荷の下に人がいないこと、また障害物がないことを確かめてから、積荷を下げてください。

傾斜地、坂、または階段上で機械を輸送する場合は、常識的な判断と手順をもって行ってください。

リフトの危険

機械に積荷する際もしくは機械を傾ける場合、または機械を階段上で移動する場合、適切な手段で行ってください。

感電の危険

この機械は絶縁されておらず、電流に接触した場合や近づいた場合は電流から保護されません。

適用する行政の規制および次の表に従って、電線や機械から安全な距離を保ってください。

電圧	安全上必要な最小距離
範囲	メートル
0 ～ 300V	接触を避ける
300V ～ 50KV	3.1
50KV ～ 200KV	4.6
200KV ～ 350KV	6.1
350KV ～ 500KV	7.6
500KV ～ 750KV	10.7
750KV ～ 1,000KV	13.7

作業台の動きや電線の揺れやたるみを考慮にいれ、強風および突風に注意してください。

機械が通電している電線に接触している場合、機械に近づかないでください。通電している電線の電気が止められるまで、作業員は絶対に機械に触れたり操作したりしないでください。

溶接するときに機械をアースとして使用しないでください。

人体への傷害の危険

ケーブルを握らないでください。

セットアップ時に作業台を下降させないでください。

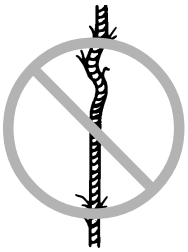
折りたたみ式のレッグ、滑車、荷台など、手や指をはさむ可能性のある場所には触れないでください。

誤った使用による危険

積荷された機械からは、絶対に離れないでください。権限のない人が適切な指示なしに機械を操作し、危険な状態を招く恐れがあります。

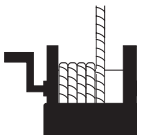
機械故障の危険

損傷もしくは故障している機械は使用しないでください。



ケーブルが消耗している、ねじれている、または損傷している機械は使用しないでください。

キャリッジが完全に下がっている状態でウィンチドラムにケーブルが 4 巻き以上残っていない場合、機械を使用しないでください。



毎回機械を使用する前に、操作前の点検を完全に行ってください。

すべてのステッカーが適切な位置にあり、文字が読める状態であることを確認してください。

ウィンチには潤滑油をさして常に適切な状態に保ってください。オイルやグリースがブレーキの表面につかないようにしてください。

通り道上ではいかなる種類の潤滑剤も使用しないでください。

落下の危険

ブレーキがロックされるまで、ウィンチハンドルをしっかりと握ってください。積荷によってウィンチハンドルが回らなくなると、ブレーキがロックされます。

安全規則

ステッカーの説明

Genie 製品ステッカーは、識別しやすいように下記のようなシンボル、色別コード、警告用語を使用しています。



安全警報シンボル－作業員にケガの危険があることを知らせます。ケガや死亡の危険を避けるために、このシンボルのあとに示された全ての安全警告に従ってください。

⚠ 危険 赤－差し迫った危険があることを示します。この危険を回避しない場合は重傷または死に至ります。

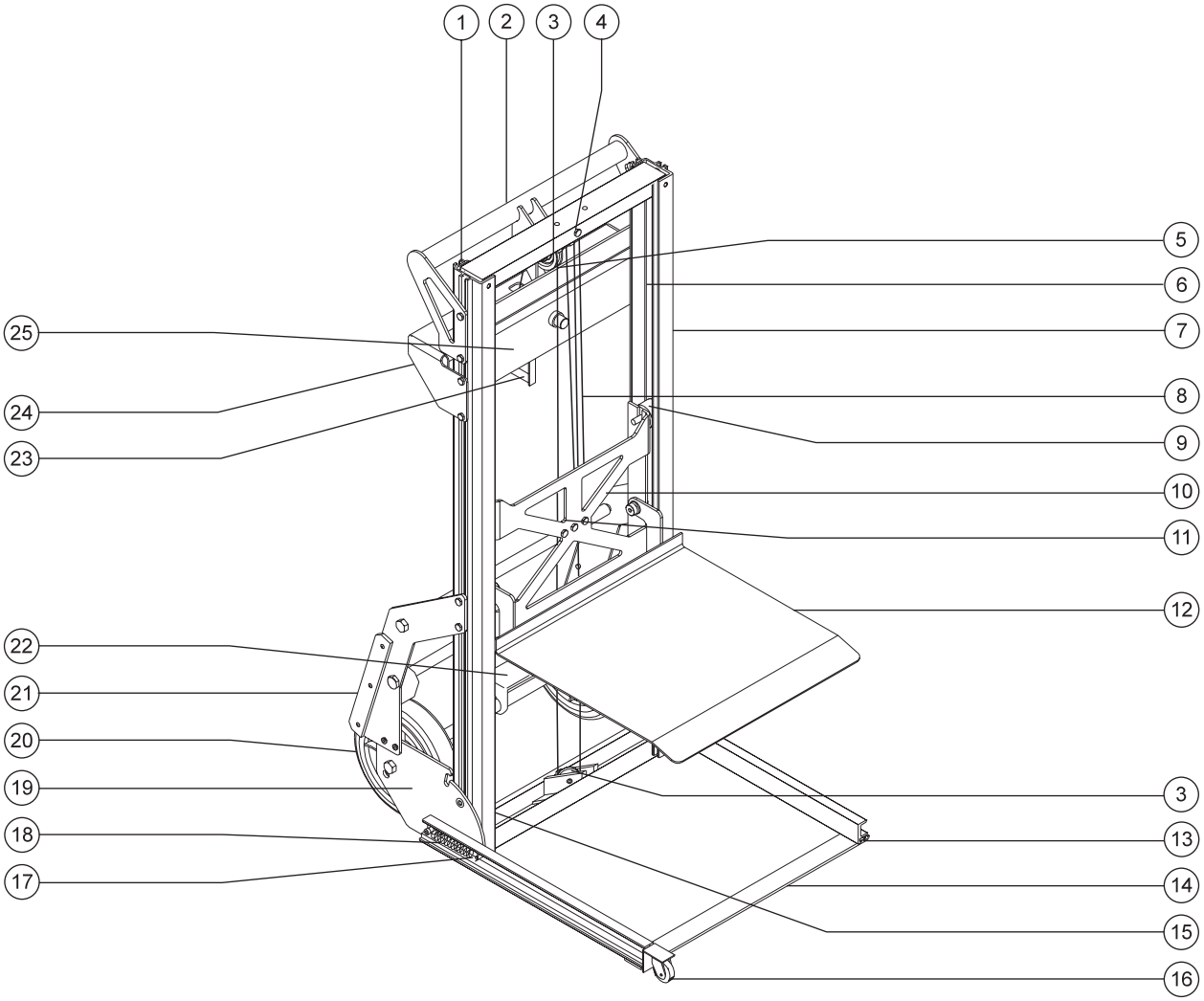
⚠ 警告 オレンジ－危険な状況になる可能性があることを示します。この危険を回避しない場合は重傷または死に至ることがあります。

⚠ 要注意 安全警告シンボルを伴った黄色－危険な状況になる可能性があることを示します。この危険を回避しない場合は小さなケガから中程度のケガを負うことがあります。

要注意 安全警告シンボルのない黄色－危険な状況になる可能性があることを示します。この危険を回避しない場合は機械が故障することがあります。

注意 緑－操作または保守に関する情報を示します。

説明



1 外側フレーム滑走ボタン
2 ハンドル
3 内側フレーム滑車
4 ケーブル終端
5 外側フレーム滑車
6 内側フレーム
7 外側フレーム
8 ケーブル
9 ローラーホイール
10 キャリッジ
11 キャリッジ滑車
12 荷物台
13 フットパッド
14 折りたたみ式レッグ
15 内側フレーム滑走ボタン
16 前方レッグキャスター (オプション)
17 レッグロックボルト
18 レッグばね
19 ベース・プレート
20 後部タイヤ
21 階段グライド (オプション)
22 ブレーキ (オプション)
23 ウィンチハンドル
24 ウィンチ (プレートの下)
25 ウィンチ固定プレート

操作前の点検



下記の場合以外は操作をしないでください。

☑ 使用者が操作説明書の安全な機械操作の原則を学び、実施している。

1 危険な状態での使用を避ける。

2 常に操作前の点検を行う。

次のセクションに移る前に、操作前の点検についてよく理解してください。

3 使用する前に常に機能テストを行う。

4 作業場を点検する。

5 決められた用途にのみ機械を使用する。

原則

操作前の点検とは、シフトの前にオペレータが目で見て行う点検です。この点検は、オペレータが機能テストを行う前に、目で点検して異常な箇所を見つけることを目的としています。

部品が変更されていないこと、損傷している部品や緩んでいたり欠けている部品がないことを確認します。

故障もしくは改造した機械は決して使用しないでください。もし、損傷あるいは工場出荷時の状態から何らかの異変が発見された場合、機械に故障中の貼り紙をつけて使用を停止してください。

機械の修理は、認定を受けたサービス担当者のみが製品仕様に基づいて行うことができます。修理が終了したら、オペレータは機能テストに移る前に再度操作前の点検を行ってください。

操作前の点検

- ❑ 操作説明書が完備され、文字が読める状態で、利用できる状態であることを確認してください。
- ❑ すべてのステッカーが、文字が読める状態で所定の位置にあることを確認してください。「ステッカー」のセクションを参照してください。

以下の部品もしくは部分が損傷していたり変更されていないか、また、きちんと設置されていなかったり、なくなっている部品がないかをチェックしてください。

- ❑ ウィンチと関連部品
- ❑ ベース部品
- ❑ レッグ
- ❑ 滑走ボタンとローラーホイール
- ❑ 内側・外側フレーム
- ❑ ケーブルアンカー
- ❑ ケーブルと滑車
- ❑ ホイール
- ❑ キャスター (ついている場合)
- ❑ 荷物台
- ❑ ナット、ボルト、他の締め具
- ❑ ケーブル (縒れ、もつれ、消耗)

機械全体をとおして下記をチェックしてください :

- ❑ へこみや損傷
- ❑ 腐食や酸化
- ❑ 溶接や機械部品の割れ

- ❑ 機械を構成している部品がいずれも欠けておらず、適切なファスナーやピンが正しい位置にしっかりと締められた状態になっていることを確認してください。
- ❑ キャリッジが完全に下がっているときに、ウィンチドラムにケーブルが 4 巻き以上残っていることを確認してください。

機能テスト



下記の場合以外は操作をしないでください。

☑ 使用者が操作説明書の安全な機械操作の原則を学び、実施している。

1 危険な状態での使用を避ける。

2 常に操作前の点検を行う。

3 使用前に常に機能テストを行う。

次のセクションに進む前に、機能テストについてよく理解してください。

4 作業場を点検する。

5 決められた用途にのみ機械を使用する。

原則

機能テストは、機械を使用する前に故障を見つけることを目的としています。オペレータは、指示された手順に従って、全ての機能をテストしてください。

故障している機械は決して使用しないでください。故障が見つかった場合は、故障の貼り紙を付けて作業を中止してください。機械の修理は、認定を受けたサービス担当者のみが製品仕様に基づいて行うことができます。

修理が終了したら、オペレータは機械を使用する前に、再度操作前の点検、続いて機能テストを行ってください。

機能テスト

1 固く水平で障害物のない場所でテストを行ってください。

セットアップ

1 機械を後方に傾けます。

2 折りたたみ式レッグを持ち上げてロックを解除します。

3 折りたたみ式レッグを下げ、押してロックします。

4 作業台を下げます。このとき落とさないでください。

5 ウィンチハンドルのノブを外し、ウィンチハンドルを逆にしてノブを取り付けます。ハンドルのグリップが、作業員に向いていなければなりません。

レッグばねの張力のテスト

1 レッグを外側に引いて話します。

⊙ 結果：レッグがロック位置に戻ります。

ウィンチ操作のテスト

1 ハンドルを時計回りに回して作業台を上げます。

⊙ 結果：キャリッジが内側フレームの一番上まで上がり、その後内側フレームが上昇します。キャリッジと内側フレームは、ひっかかったり、つっかえたりすることなく、スムーズに動かなければなりません。

2 ウィンチハンドルを反時計回りに回して作業台を下げます。

⊙ 結果：内側フレームとキャリッジが、外側フレーム内に下がらなければなりません。キャリッジと内側フレームは、ひっかかったり、つっかえたりすることなく、スムーズに動かなければなりません。

作業場の点検



下記の場合以外は操作をしないでください。

☑ 使用者が操作説明書の安全な機械操作の原則を学び、実施している。

1 危険な状態での使用を避ける。

2 常に操作前の点検を行う。

3 使用前に常に機能テストを行う。

4 作業場を点検する。

次のセクションに進む前に、作業場の点検についてよく理解してください。

5 決められた用途にのみ機械を使用する。

原則

作業場を点検することによって、オペレータは作業場が安全に機械を操作するのに適しているかどうかを判断することができます。作業場の点検は、作業場に機械を移動する前に行わなければなりません。

オペレータは作業場で起こりうる危険を心得たうえ、機械の移動、セットアップ、運転時に注意を払い、危険を回避してください。

次の危険な状態に注意し、回避してください：

- 急に低くなっているところ、くぼみ
- 地面の盛り上がりや床の障害物
- 破片
- 頭上の障害物、高圧送電線
- 危険な場所
- 機械による負荷に耐えられない表面
- 風や天候の状態
- その他起こる可能性のある危険な状態

操作手順



下記の場合以外は操作をしないでください。

☑ 使用者が操作説明書の安全な機械操作の原則を学び、実施している。

1 危険な状態での使用を避ける。

2 常に操作前の点検を行う。

3 使用する前に常に機能テストを行う。

4 作業場を点検する。

5 決められた用途にのみ機械を使用している。

原則

機材を持ち上げること以外に機械を使用することは危険です。

複数のオペレータが同じ勤務時間内で異なる時間帯に機械を使用する場合、各オペレータが、すべての安全規則と操作説明書の手順に従わなければなりません。すなわち、オペレータが交替するたびに、次のオペレータが機械の操作前に、操作前の点検、機能テスト、作業場の点検を行う必要があります。

セットアップ

障害物がなく、平坦で安定している場所を選んでください。

「機能テスト」セクションのセットアップ手順に従ってください。

積荷の上げ下ろし

1 積荷を荷物台の中心に置きます。

2 ウィンチハンドルをしっかりと握って時計回りに回し、積荷を上げます。ケーブルがドラム上に不均等に巻かれないようにしてください。

3 ウィンチハンドルをしっかりと握って反時計回りに回し、積荷を下げます。任意の位置まで下がったら、ブレーキをセットするため、ウィンチハンドルを時計回り (積荷の上昇) に 1/4 回転させます。

操作手順

積荷されている機械の移動

作業場で機械を移動する場合、積荷されていない状態で行うのが最も理想的です。積荷を上げた状態での移動は、積載および積み下ろしのためのみに制限すべきです。積荷を上げた状態で機械を動かす必要がある場合は、次の安全上の規則を心得え、従ってください。

- 現場が平坦で、障害物がないことを確認してください。
- 積荷が荷物台の中心に配置されていることを確認してください。
- 急な発進または停止は避けてください。
- 積荷をできるだけ低い位置にして移動させてください。
- 関係者以外は、機械および積荷に近づかないでください。
- 積荷が上がっている状態で機械を後方に傾けないでください。

機械を階段上で移動する

- 積荷を完全に下げます。
- 機械は各段で速度を落としてください。ハンドルをしっかりと握ってください。
- 機械がバランスを失わないようにしてください。
- 引き続き、慎重に階段を上下してください。
- 積荷が重い場合は、適切な人数の作業員と適切な手段で持ち上げてください。

使用後の注意

機械の保管は、セットアップ手順を逆の順序で行ってください。レッグを収納するために作業台を完全に下げてください。

固い水平な地面で、風雨にさらされない、障害物や人や車の往来のない、安全な格納場所を選んでください。

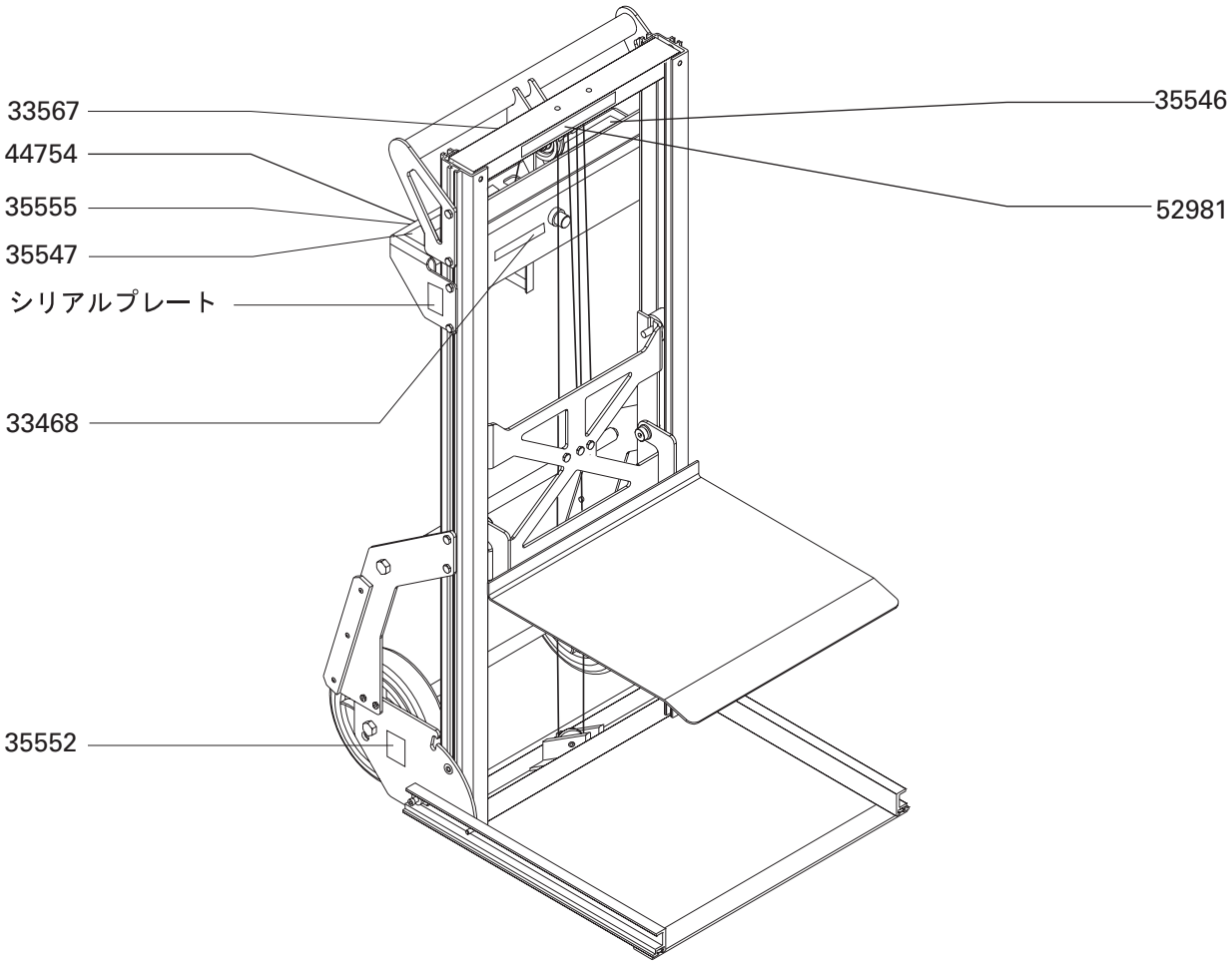
ステッカー

ステッカーの点検

下の絵を見て、ステッカーの文字が読める状態で所定の位置に貼られていることを確認してください。

品番	名称	数量
33468JA	警告 ー 乗車禁止	1
35546JA	警告 ー 機械の安全	1
35547JA	注意 ー 機械のセットアップ	1
35552JA	警告 ー 転倒の危険	2

品番	名称	数量
35555JA	注意 ー 最大積載重量 91 kg	1
35567JA	警告 ー 人体への傷害の危険	1
52981	外装 ー Genie Load Lifter	1
44754JA	ラベル ー 上昇/下降	1



仕様

高さ、作業台最大	1.70 m
リフト容量	91 kg
機械の重量	20 kg
高さ、収納時	1.14 m
幅	52 cm
機械による騒音 標準的な作業場での最大音量（騒音レベル）	78 dB

奥行き ー 収納時	38 cm
奥行き ー 操作時	73 cm
荷物台	
奥行き	43.2 cm
幅	43 cm
台高さ	5 cm

部品固定場所

